

## 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

## 【事務事業の基本的事項】

事務事業名	教職員住宅管理運営費			
担当課係名	教育総務課	管理係	作成者	小林龍夫
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 93
	基本計画	学校教育の充実と教育環境の整備		
	主要施策	学校施設の整備		
予算費目	一般会計	10款 教育費	1項 教育総務費	4目 教職員住宅費
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分	
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	仙北市教育職員住宅条例			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

## 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	本市に勤務する教職員
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	施設の安全、及び正常な機能の維持
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	教育職員住宅の維持管理を実施

## 【事務事業の推移】

(単位:千円)

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	教職員住宅 戸数	戸	5	5	
	成果指標	事業費	千円	137	519	
		教職員住宅 戸数	戸	5	5	
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			137	519	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源			137	519
	人件費(B)			3,927	4,036	
	職員数			0.5	0.5	
	職員平均人件費			7,853	8,071	
(A)+(B) 投下コスト			4,064	4,555		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			812,800	911,000	
	市民1人当たりのコスト(円)			127	145	

【事務事業の今までの成果】

仙北市各地区に建設されている教職員住宅については、これまで若年の新任教師等において使用されることが多かったが、近年は、外国語指導助手(ALT)などの短期間日本で活動される外国人の方々への使用が主となっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	財政状況を踏まえての維持管理を実施
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	(特になし)

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続(実施)	小学校においても英語の授業化が決定し、ALT関係の需要は今後も多いと推測されるため、継続が必要と考える。
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B	民間の賃貸住宅の供給も増加しているなど、住宅環境の改善や交通手段の変化などの状況を考慮した場合、今後見直しの必要な事業と考える。

